

1st Year

平成27(2015)年度

平成27年10月～平成28年3月

大地を耕し、種をまく

3年間に及ぶ事業の最初の1年は、多くを、これから展開する活動の準備に費やしました。

北海道各地に足を運ぶにあたって、事業の目的を端的に伝え、その必要性を理解してもらう助けになるツールがあることが望ましいと考えました。そこで、事業の内容を表す「コンセプト」を決め、事業の目印となる「ロゴ」を作成し、情報発信を行うツールとしてWebサイトやFacebookを立ち上げました。



この年の活動

全体に関わる準備

- コンセプトづくり
- ロゴマーク作成
- 事業の愛称づけ

聞く・話し合う

- 小児等在宅医療推進協議会設立準備

集める・届ける

- Webサイト開設
- Facebookページ開設

教える・育む

- 訪問看護出前教室
- 第1回呼吸介助手技実技講習会
- など

つながり合う

- 意見交換会開催
- 道南

受け止める・支える

- 天使カフェ
- 月イチアロマ講座
- プリザーブドフラワー
- アレンジメント教室

伝える・拡げる

- いっしょにね!文化祭
- こどもホスピスシンポジウム
- 自主上映会「風は生きよという」



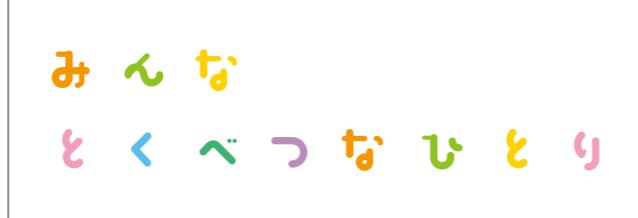


コンセプトづくり

コンセプトは、活動の理念となり、その活動に参加する人をつなぐ共通のテーマとなります。端的に、そして事業の活動に適したコンセプトを見つけるのは簡単ではありません。ただ、そのコンセプトをひねり出すまでの過程で、その事業の目的が明らかになり、長期間の活動に一貫性を持たせることにつながります。コンセプトづくりは、とても大切な時間といえます。

本事業のコンセプトは、「みんな、とくべつなひとり」です。医療的ケアが必要な子もそうでない子も、障害がある子もそうでない子も。保護者の方も兄弟姉妹も、看護師も介護職も、私たち一人一人が特別な存在であることを言語化するとともに、周囲の人々の存

在を尊ぶために必要な思いを示しました。「今、社会に不足しているものをみんなで考えて、その不足を埋めていく活動を小児在宅医療の視点から展開する」という意志を、私たちの活動のコンセプトとしました。



ロゴマーク作成、事業の愛称づけ

人間の第一印象の80%は視覚で決まるといいます。事業のシンボルであるロゴマークは、事業のコンセプトを多くの人に伝える重要な役割を果たします。本事業では、事業名の中にある「在宅医療」というキーワードに着目し、家をモチーフにしたロゴマークをデザインしました。また、事業への愛称づけも同時にいました。「子どもを中心に、在宅医療を必要とする人々を支える」という事業の理念から連想し、「応援する」という意味を持ち、「イエ(家)」という響きを含む英語「YELL」を愛称として定め、ロゴマークとセットで使用することとしました。

ロゴマーク作成の最も大きな目的是事業の個性やイメージの表現です。今回は愛称づけも合わせて行ったことで、事業がより親しみやすくキャッチャーな印象になりました。結果、多くの人々に活動が浸透しやすくなり、事業の存在感が高まったと感じています。ロゴマークや愛称の作成は、他の類似事業との差別化を図ることがで



YELL
北海道小児等
在宅医療連携拠点事業
[いえーる]

みんな、とくべつなひとり
YELL
北海道小児等
在宅医療連携拠点事業
[いえーる]



▲チラシ

◀ポスター



◀リーフレット

WebサイトとFacebookページの開設

1年目に、全道各地の医療・福祉・教育などの資源の情報を収集し、発信していくためにWebサイトを立ち上げました。医療機関から子どもたちが退院する時、在宅での生活に困りごとがある時などに活用してもらえる情報を当該サイト上で発信。Facebookとも連動させてタイムリーな情報発信を行いながら、連携するすべての方々とともにWebサイトを充実させてきました。

2年目以降は、さらに「いえーるMAP」(各地の社会資源やサービス情報を集約し、誰でもアクセスできる機能)や、「コミュニティinfo」(どの地域でどんな活動が展開されているか、勉強会や研修会、ご家族同士の集まり等、各地域のコミュニティ情報を掲載できるページ)、「ケア・サポートinfo」(支援者のための事前申請制の閲覧ページ)のページを立ち上げました。この作業と並行して、研修会やお役立ち情報などの動画を閲覧できる機能を活用するために、動画のアーカイブ化も進めました。

Facebookを通じたタイムリーな情報発信にも力を入れました。子どもたちの親世代は、SNSを通じた情報共有が当たり前の世代です。そのことを踏まえ、常に発信を続けることに意義があると考え、SNSでの継続的な情報発信を実践しました。



▲Facebookページ
<https://www.facebook.com/yell.hokkaido>



▲Webサイト <http://yell-hokkaido.net>

